

A-29 肥満マウスにおける脂質代謝(1) — G T G処理による肥満マウス —
広島大学(福山)栄養・三戸^{みよと}昭 福山曉の星学院、松本史子

目的 現在、肥満者の増加がみられ、肥満について悩む人が多くなってきた。我々は肥満について研究する一つの方法として、G T G肥満マウスを育成してきた。G T G処理による肥満マウスの育成について、肥満化への過程等について、対照と比較して明らかにすることを目的として、実験を重ねてきた。

方法 dd系マウスを用い、G T G処理をして、肥満マウスを育成した。また、この育成過程における血中脂質のコレステロール、トリグリセライド、遊離脂肪酸等について、茂手木、鈴木：標準臨床検査法によって、測定を行い、対照マウスとの間における差異について観察した。

結果 G T G肥満マウスについて、下記のような観察を行った。

1. G T G処理によって、肥満マウスの育成を行ってきた。
2. G T G処理マウスの肥満への過程における発育状態および血中脂質についての変化の状態を調べた。
3. G T G処理マウスに砂糖添加食餌を投与すると更に肥大肥満することが認められた。
4. その他